

ようとう ほ じ ろ
アルミニウム溶湯保持炉

縦浸漬炉

Vertical Heating System

加熱プロセスの改善と革新。

安全、省エネ、省スペース

CO₂排出ゼロを実現。



省エネ



CO₂ゼロ



高出力



製品不良率低減



省スペース



IOT化

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



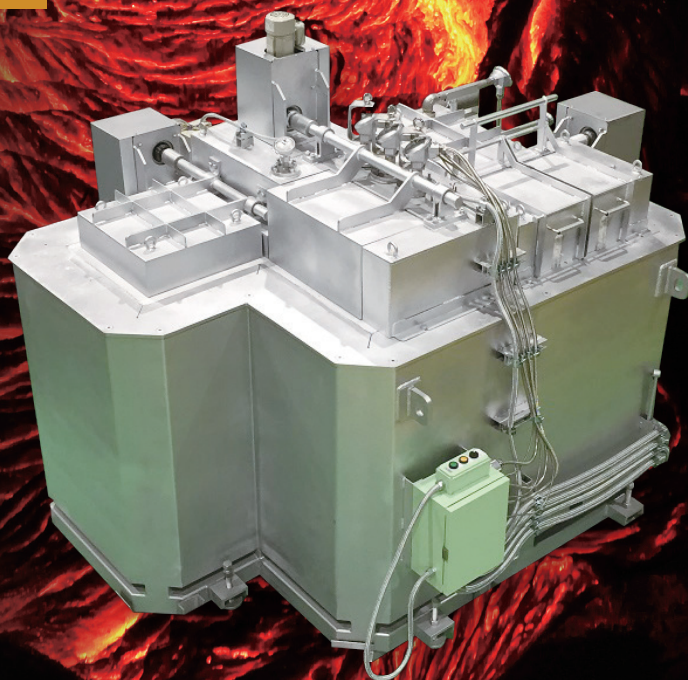
9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任

超低水準のエネルギー消費と
高速加熱を両立します。

- ・適正な熱源配置、そして炉体放熱量の低減化を両立し、アルハイパーでしか無い低燃費炉を実現。
- ・浸漬加熱のみの熱源により、酸化物低減が可能となりアルミ溶湯品質向上に貢献。
- ・コンパクトな熱源により、従来のアルミ保持量と汲出量の最適なバランスを実現。
(保持量削減による設備省スペース化・省エネルギー化が実現)



バーチカル ヒーティング システム
VERTICAL HEATING SYSTEMで熱源のあるべき姿へ

非鉄金属鑄造産業における脱炭素化や省エネルギー化が実現出来る
アルミニウム溶湯保持炉が完成

01 | 脱炭素化の実現
設備でのCO₂排出ゼロ活動。

02 | サーマルマネジメントの追求
加熱効率を最大限まで高め、且つ炉体放熱損失を最小限に抑え省エネ・省スペース・メンテナンス性を追求。

03 | 安全
バーチカルヒーティングシステム採用により、ヒータ保護管破損時における湯漏れ事故を無くす。
ヒータ故障時の取替における危険作業を軽減。

04 | 熱源に次世代浸漬ヒータ〈ALHYPER X〉を採用
コンパクトで高効率の〈ALHYPER X〉だからこそ実現可能。

酸化物の削減例

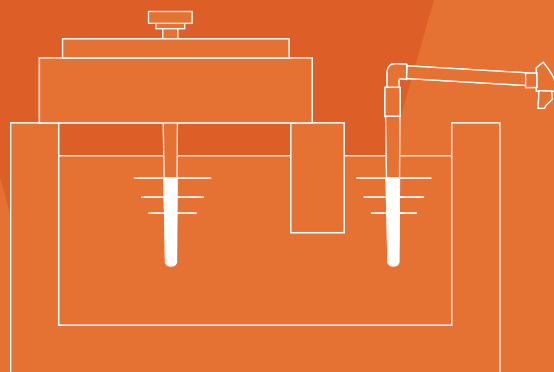


アップーヒータ6本
24kg/週



アルハイパー2本
7.5kg/週

無駄を
約
70 %
削減



【仕様】

溶湯保持温度	700℃
保持量	2100kg(比重2.4)
最大汲出可能量	600kg
残湯量	1500kg
アルミ材質	AC4C
蓋開閉動力	モータ式
炉壁温度	50℃
炉体重量	約5000kg

【比較表】

構造	縦浸漬炉	従来例(アンダー炉)
断熱構造	断熱ボード	キャストブル
ヒータ使用温度	800℃	1000℃
消費電力(生産時)	12kW(1時間あたり)	24kW(1時間あたり)
ランニングコスト 24時間300日と仮定 17【円/kW】	電力使用量:86,400KW 光熱費: ¥1,468,800 ▲50%削減	電力使用量:172,800KW 光熱費: ¥2,937,600

※性能向上の為、仕様を予告なく変更する場合がございます。
※オーダーメイドでの製作が可能です。

※実績値ですが、条件により左右されあくまで参考値です。性能を保証するものではありません



株式会社 ヤマト

本社工場 / 〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺4丁目1-16
TEL:072-339-5360 FAX:072-339-5365

新大阪営業所 / 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目9-30 大阪地所ビル4F
TEL:06-6886-1555 FAX:06-6886-1556

Yamato Channel YouTube

